

修士論文発表概要の書式

知能・機能創成工学専攻
研究室名
氏 名

1. はじめに

ここでは修士論文発表概要の書式を規定する。
この文章は MS-Word を用いて、ここに示すフ
ォーマットに準拠して作成されている。必要に
応じて参考にされたい。

2. 発表概要の体裁

2.1. 用紙

概要には A4 サイズの用紙を用いること。
両面印刷にて2頁以上 4 頁以内に収めること。

2.2. マージン

ページ番号も含めて、概要のすべての内容は、
A4 サイズの紙面を用いて、左：2cm、右：2cm、
上：2cm、下：2cm の余白とする。

2.3. 修士論文タイトル・氏名等

発表概要のはじめに論文タイトルを記載しな
ければならない。また、タイトルの上には左寄
せで「平成 27 年度修士論文発表概要」、右寄せ
で発表日を記載し、タイトルの下に右寄せで専
攻名、研究室、氏名を明記すること。

2.4. 本文

本文は原則として 2 段組とすること。
句読点、)}」が行頭にくることがないようにする
など、禁則処理も行うこと。節、項、目は 2.1、
2.1.1、(a)の形式で記載すること。

2.5. ページ番号

頁番号は各頁の下部中央に記載すること。

3. フォント、文字数、行数

とくに規定するものではないが、以下のよう
な形にすることが望ましい。

3.1. フォント

タイトル：ゴシック・Arial 14pt センタリング
所属・著者名：明朝・Times 10.5pt 右寄せ
本文：明朝・Times 10.5pt

見出し（節、項、目）：ゴシック・Arial 10.5pt
頁番号：Times 9pt センタリング
図表のキャプション：Times 10.5pt

3.2. 本文中一行あたりの文字数、行送り

本文中の一段一行あたりの文字数は全角で
22文字程度とし、行間隔は 14pt 程度（1 ページ
あたり 51 行程度）とする。